

福音館書店 『ちいさながくのとも』2010年9月号(通巻102号) おりこみふろく 生きものクイズ

生きものクイズ

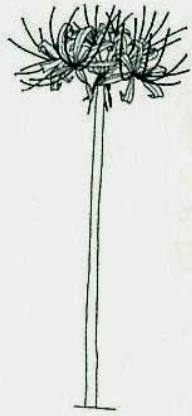
佐賀県立博物館
飛松千陽

九月というのに、まだまだ暑い日が続いています。佐賀平野では三十度を越えるお日さまの日差しの中、田んぼのイネが少しずつ黄色くなり始めています。

今月は佐賀平野の中にある佐賀市よりクイズです。



田んぼの周りのあぜには、真っ赤なヒガンバナが咲いています。よく見ると葉っぱがありません。葉っぱのない植物なのでしょうか？



ヒガンバナは秋の彼岸（九月二十三日）頃に咲くので、その名前がついたといわれています。ほかに、ハミズハナミズ（葉見ず花見ず）と呼ばれることもあります。花が咲いてい

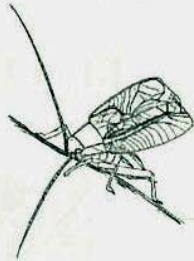
る時には葉っぱがなくて、葉っぱがある時には花がないのでついた名前です。答えは「葉っぱはあるけど、花が終わった後に出てくる」です。日本で見られるヒガンバナは球根だけで増え、ふつうタネはできません。また、毒があることは有名ですね。



夕方になると、りいりい、りいりい」と虫の大きな声がしてきました。探してみただけ、虫の姿は見えませんが、どこで鳴いているのでしょうか？



鳴いているのはコオロギの仲間のアオマツムシ。緑色の体で、木の上にいるので見つけにくいのです。答えは「木の上」。



あれ松虫が鳴いている。ちんちろちんちろ。ちんちろりん」という童謡「虫の声」に出てくるマツムシは日本にもともといた虫ですが、アオマツムシは百年くらい前、外国から日本に入ってきた外来種です。